



2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月7日

上場会社名 株式会社 ニックトー

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

定時株主総会開催予定日 2020年6月19日

配当支払開始予定日

2020年6月22日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,330	12.7	666	42.6	752	38.7	441	44.3
2019年3月期	10,683	9.9	1,162	12.6	1,228	14.3	791	5.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	36.95		4.1	5.0	7.1
2019年3月期	66.31		7.4	8.3	10.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	15,221	10,865	71.4	910.31
2019年3月期	15,081	10,889	72.2	912.28

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,865百万円 2019年3月期 10,889百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	776	2,072	1,079	2,411
2019年3月期	738	501	392	2,627

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		11.00		11.00	22.00	263	33.2	2.4
2020年3月期		11.00		11.00	22.00	263	59.5	2.4
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、国内外の新型コロナウイルスの影響による企業活動の制約や市場環境の悪化等々あまりにも不確定要素が多く、現状合理的に見積もる事が困難なことから業績予想を未定とさせていただきます。今後、合理的に予想可能となり次第速やかに公表いたします。

なお、詳細につきましては、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	12,135,695 株	2019年3月期	12,135,695 株
期末自己株式数	2020年3月期	199,991 株	2019年3月期	199,747 株
期中平均株式数	2020年3月期	11,935,869 株	2019年3月期	11,936,044 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	3
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当会計年度における我が国経済は、米中の貿易摩擦への懸念に伴い輸出が伸び悩み、設備投資も鈍く、外需が減速し企業業績に影響が見られました。また、その状況下半以降は、新型コロナウイルスの拡散に伴い企業活動が一部停止し、製造業の拠点である中国が機能停止状態となり、今後益々影響が見込まれる非常事態となりました。

このような状況のもとで、当社は事業全体で売上高が前年同期比12.7%減の9,329,618千円と厳しい状況になりました。営業利益につきましては前年同期比42.6%減の666,429千円、経常利益につきましては前年同期比38.7%減の752,367千円、当期純利益につきましては、新型コロナウイルスの影響による株価大幅下落に伴う投資有価証券評価損を85,618千円計上したものの修正後の業績予想数値は上回り、前年同期比44.3%減の441,068千円となりました。

セグメント別の状況につきましては、セラミックス事業におきましては米中貿易摩擦問題、新型コロナウイルス拡散等当事業年度を通して厳しい状況にあり、前年同期比12.2%減の売上高7,081,369千円となりました。一方のエンジニアリング事業におきましてもセラミックス事業同様に受注減により、前年同期比14.2%減の売上高2,248,249千円となりました。また営業利益は、セラミックス事業では生産効率改善などに取組み一部改善傾向にあるものの、将来を見据えた設備投資に伴う減価償却費増もあり、前年同期比42.7%減の672,555千円となりました。一方エンジニアリング事業は6,126千円の損失（前年同期は12,858千円の損失）と厳しい状況となりました。これは昨今の厳しい競争環境における利ざやが低下したこと及び受注の小口先が増えたことによる経費増等に伴うものであります。かかる状況下、北関東営業所を閉所しエンジニアリング事業の組織体制の見直しを実施することにより、引き続き一層の効率化及び事業の見直しを実施してまいります。

結果、当社の目標数値としているROE 8%以上、EPS 50円以上につきまして、当事業年度の実績はROE 4.1%、EPS 36円95銭と両目標数値を下回る結果となりました。今後も資本の効率的な運用及び利益率改善等に取り組む、引き続き目標数値の達成を目指していくものであります。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の財政状態につきましては、総資産が前期末比0.9%増の15,220,841千円となりました。内訳としましては流動資産が前期末比8.7%減の8,338,649千円となりました。主に現金及び預金が8.3%減の2,410,596千円、売掛債権が17.8%減の3,079,940千円となりました。これらの減少要因は有形固定資産の取得による支払い、売上減少によるものであります。また、固定資産が前期末比15.8%増の6,882,191千円となりました。主に機械及び装置が前期末比15.3%増の1,532,604千円、建設仮勘定が前期末比大幅増の806,047千円となり、これら増加要因は中期経営計画に沿った生産効率改善を見据えた生産設備の新設・更新及び東山工場新棟建設に係る着手金等によるものであります。

一方負債は、前期末比3.9%増の4,355,676千円となりました。内訳としましては流動負債が前期末比24.5%減の2,888,260千円となりました。主に買掛債務が前期末比29.2%減の1,385,790千円、営業外電子記録債務が前期末比64.0%減の146,128千円となり、これらの減少要因は売上減少に伴う仕入債務の減少及び有形固定資産の支払いによるものであります。また、固定負債が前期末比299.4%増の1,467,415千円となりました。主に長期借入金が前期末比大幅増の1,178,412千円となり、これは新ホール棟建設に伴う長期借入の実施に伴うものであります。

最後に純資産が前期末比0.2%減の10,865,165千円となりました。内訳といたしましては株主資本が前期末比1.7%増の10,634,770千円となりました。主に利益剰余金が2.2%増加の8,176,090千円となり、これは当事業年度の内部留保の蓄積による繰越利益剰余金の増加に伴うものであります。また、評価・換算差額等が前期末比46.7%減の230,394千円となり、これは主に株価下落によるその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)	前年同期比増減額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,202	776,232	38,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△501,175	△2,071,626	△1,570,451
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,473	1,078,753	1,471,227
現金及び現金同等物期末残高	2,627,237	2,410,596	△216,640
借入金期末残高	457,196	1,799,304	1,342,108

当事業年度末における現金及び現金同等物は前期末比216,640千円(8.2%)減少し2,410,596千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、米中の貿易摩擦及び新型コロナウイルスの影響に伴う減収の影響が大きく税引前当期純利益は645,764千円と前年同期比470,240千円(42.1%)減少いたしました。一方で、売上高の減少により売上債権の増減額が669,073千円と前年同期比796,177千円収入が大幅に増加いたしました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは776,232千円と前年同期比38,029千円(5.2%)収入が増加いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産性改善及び生産能力の増強等設備の新規導入や更新に積極的に取り組んだことにより有形固定資産の取得による支出が△2,028,159千円と前年同期比1,402,526千円(224.2%)増加いたしましたことに加えて、投資有価証券の売却による収入が13,566千円と前年同期比100,522千円(88.1%)減少いたしました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△2,071,626千円と前年同期比1,570,451千円(313.4%)支出が増加いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、新ボール棟建設に伴う長期借入金の調達により長期借入による収入が1,500,000千円増加いたしました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、1,078,753千円と前年同期比1,471,227千円(前年同期は△392,473千円)収入が増加いたしました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルスの影響に伴う国内での2020年オリンピック開催延期、その開催時期等々、不透明な状況下であり、未だ結論が見いだせない米中の通商問題等、不安定要素も多く予断を許しません。このような状況のもと、当社は多種多様に増大する客先のニーズにお応えすべく、増産体制の確立と将来の主力製商品の開発を図るべく、「新3ヶ年中期経営計画」の最終年度として、引続き現在進行中の大幅な設備増強と人的資源に対する投資及び人材育成、さらには今まで以上の合理化を推し進めてまいります。

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴う、政府の「緊急事態宣言」の発令により当社の生産活動や営業活動に制約を受けていることに加え、その終息時期も不透明な状況の中、当社主力販売先である電子部品業界も同様に厳しい状況下であり、現時点でその影響を見積もることが困難であるため、未定とさせていただきます。また配当につきましても同様に未定とさせていただきます。今後確定次第速やかに公表させていただきます。尚、当社は将来の基盤づくりに取り組むべく、生産設備の新規導入及び更新に積極的に投資し、持続的成長及び中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

(注) 本資料に掲載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業は、現在ほぼ国内に限定されており海外での事業展開がないこと及び子会社がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移、また同業他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえ、IFRSの検討を進める方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,627,237	2,410,596
受取手形	1,060,563	653,444
電子記録債権	582,778	588,800
売掛金	2,105,672	1,837,695
商品	62,162	53,407
製品	655,815	1,188,678
原材料	247,112	158,020
仕掛品	1,493,366	1,169,647
貯蔵品	166,982	195,791
仮払金	2,631	2,903
未収入金	1,191	47,919
預け金	110,033	10,020
前払費用	20,873	21,675
前払金	-	50
貸倒引当金	△700	-
流動資産合計	9,135,719	8,338,649
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,009,590	4,105,475
減価償却累計額	△2,572,712	△2,637,369
建物(純額)	1,436,878	1,468,106
構築物	247,973	245,698
減価償却累計額	△149,779	△149,781
構築物(純額)	98,193	95,917
機械及び装置	7,667,092	8,043,355
減価償却累計額	△6,337,882	△6,510,750
機械及び装置(純額)	1,329,210	1,532,604
車両運搬具	74,203	72,768
減価償却累計額	△63,483	△62,532
車両運搬具(純額)	10,720	10,236
工具、器具及び備品	1,299,489	1,329,650
減価償却累計額	△1,137,761	△1,159,722
工具、器具及び備品(純額)	161,728	169,927
土地	790,962	943,668
建設仮勘定	15,806	806,047
リース資産	2,834	6,122
有形固定資産合計	3,846,332	5,032,631
無形固定資産		
ソフトウェア	43,937	35,299
ソフトウェア仮勘定	8,400	107,409
電話加入権	4,132	4,132
無形固定資産合計	56,469	146,842

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,920,999	1,544,590
従業員に対する長期貸付金	77	-
長期前払費用	13,701	9,169
前払年金費用	57,901	35,065
敷金及び保証金	34,115	35,387
事業保険積立金	15,643	16,135
繰延税金資産	-	62,369
破産更生債権等	0	0
投資その他の資産合計	2,042,439	1,702,717
固定資産合計	5,945,241	6,882,191
資産合計	15,080,961	15,220,841
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	378,390	283,759
買掛金	1,580,258	1,102,031
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	50,696	220,892
営業外電子記録債務	405,574	146,128
未払金	368,192	462,896
未払法人税等	221,947	10,376
未払消費税等	23,737	-
未払費用	576	576
前受金	2,046	2,471
預り金	40,186	17,096
賞与引当金	319,000	219,400
役員賞与引当金	34,013	21,131
リース債務	-	1,501
流動負債合計	3,824,618	2,888,260
固定負債		
長期借入金	6,500	1,178,412
役員退職慰労引当金	159,031	163,787
長期預り保証金	74,563	67,569
資産除去債務	41,396	42,104
繰延税金負債	6,110	-
製品補償引当金	76,970	10,921
リース債務	2,834	4,620
固定負債合計	367,406	1,467,415
負債合計	4,192,025	4,355,676

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金		
資本準備金	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	137,017
資本剰余金合計	1,225,438	1,225,438
利益剰余金		
利益準備金	205,810	205,810
その他利益剰余金		
別途積立金	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	2,691,802	2,870,280
その他利益剰余金合計	7,791,802	7,970,280
利益剰余金合計	7,997,612	8,176,090
自己株式	△87,306	△87,498
株主資本合計	10,456,484	10,634,770
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	432,451	230,394
評価・換算差額等合計	432,451	230,394
純資産合計	10,888,936	10,865,165
負債純資産合計	15,080,961	15,220,841

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
製品売上高	8,061,784	7,081,369
商品売上高	2,621,049	2,248,249
売上高合計	10,682,834	9,329,618
売上原価		
製品期首たな卸高	560,249	655,815
商品期首たな卸高	52,350	62,162
当期製品製造原価	5,784,755	5,791,056
当期製品仕入高	212,966	184,332
当期商品仕入高	2,254,055	1,907,330
製品評価損	30,096	4,778
商品評価損	668	166
合計	8,895,142	8,605,641
製品期末たな卸高	655,815	1,188,678
商品期末たな卸高	62,162	53,407
他勘定振替高	91,243	59,660
売上原価合計	8,085,921	7,303,895
売上総利益	2,596,913	2,025,723
販売費及び一般管理費	1,435,117	1,359,294
営業利益	1,161,795	666,429
営業外収益		
受取利息	1,698	1,654
有価証券利息	2,965	1,340
受取配当金	53,391	53,964
受取賃貸料	7,954	8,286
受取保険金	-	15,302
その他	11,497	19,175
営業外収益合計	77,508	99,724
営業外費用		
支払利息	4,707	8,058
コミットメントフィー	4,277	4,286
その他	1,998	1,441
営業外費用合計	10,983	13,786
経常利益	1,228,320	752,367
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11,887
特別利益合計	-	11,887
特別損失		
固定資産廃棄損	12,802	25,773
投資有価証券評価損	-	85,618
製品回収関連費用	22,542	-
製品補償引当金繰入額	76,970	7,097
特別損失合計	112,315	118,489
税引前当期純利益	1,116,004	645,764
法人税、住民税及び事業税	369,000	184,000
法人税等調整額	△44,486	20,695
法人税等合計	324,513	204,695
当期純利益	791,491	441,068

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	2,174,843	7,480,654
当期変動額								
剰余金の配当							△274,532	△274,532
当期純利益							791,491	791,491
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	516,958	516,958
当期末残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	2,691,802	7,997,612

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△86,771	9,940,061	629,539	629,539	10,569,600
当期変動額					
剰余金の配当		△274,532			△274,532
当期純利益		791,491			791,491
自己株式の取得	△535	△535			△535
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			△197,087	△197,087	△197,087
当期変動額合計	△535	516,422	△197,087	△197,087	319,335
当期末残高	△87,306	10,456,484	432,451	432,451	10,888,936

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	2,691,802	7,997,612
当期変動額								
剰余金の配当							△262,590	△262,590
当期純利益							441,068	441,068
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	178,478	178,478
当期末残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	2,870,280	8,176,090

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△87,306	10,456,484	432,451	432,451	10,888,936
当期変動額					
剰余金の配当		△262,590			△262,590
当期純利益		441,068			441,068
自己株式の取得	△191	△191			△191
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△202,057	△202,057	△202,057
当期変動額合計	△191	178,286	△202,057	△202,057	△23,771
当期末残高	△87,498	10,634,770	230,394	230,394	10,865,165

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,116,004	645,764
減価償却費	564,742	648,800
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	△700
受取利息及び受取配当金	△58,056	△56,959
支払利息	4,707	8,058
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,498	△11,887
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△5,436	22,836
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	22,631	4,755
固定資産廃棄損	12,802	25,773
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	85,618
受取保険金	-	△15,302
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	76,970	△66,048
売上債権の増減額 (△は増加)	△127,103	669,073
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△481,790	△140,106
その他の資産の増減額 (△は増加)	△100,805	102,721
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,954	△572,857
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,541	△69,225
その他の負債の増減額 (△は減少)	103,922	△181,132
小計	1,069,595	1,099,184
利息及び配当金の受取額	58,056	56,959
利息の支払額	△4,500	△8,599
法人税等の支払額	△384,949	△386,615
保険金の受取額	-	15,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,202	776,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△625,633	△2,028,159
有形固定資産の売却による収入	1,720	-
投資有価証券の取得による支出	△1,875	△2,121
投資有価証券の売却による収入	114,089	13,566
貸付金の回収による収入	175	77
定期預金の払戻による収入	20,000	-
無形固定資産の取得による支出	△9,741	△53,225
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	89	△1,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△501,175	△2,071,626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△117,352	△157,892
自己株式の取得による支出	△535	△191
リース債務の返済による支出	△566	△817
配当金の支払額	△274,019	△262,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,473	1,078,753
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155,446	△216,640
現金及び現金同等物の期首残高	2,782,684	2,627,237
現金及び現金同等物の期末残高	2,627,237	2,410,596

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離され財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。

セラミックス事業は、工業用セラミックス製品を当社、堺工場および東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使用されるセラミックス製の道具類、備品、機械部分等の消耗品であります。

エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れし販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,061,784	2,621,049	10,682,834	-	10,682,834
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	8,061,784	2,621,049	10,682,834	-	10,682,834
セグメント利益又は損失(△)	1,174,654	△12,858	1,161,795	-	1,161,795
セグメント資産	10,341,491	1,611,988	11,953,479	3,127,481	15,080,961
その他の項目					
減価償却費	555,428	9,314	564,742	-	564,742
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	866,668	3,486	870,154	-	870,154

(注) 1 セグメント資産の調整額3,127,481千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,081,369	2,248,249	9,329,618	-	9,329,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,081,369	2,248,249	9,329,618	-	9,329,618
セグメント利益又は損失(△)	672,555	△6,126	666,429	-	666,429
セグメント資産	10,731,845	1,605,093	12,336,938	2,883,902	15,220,841
その他の項目					
減価償却費	640,007	8,792	648,800	-	648,800
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,946,808	4,437	1,951,245	-	1,951,245

(注) 1 セグメント資産の調整額2,883,902千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	912.28円	910.31円
1株当たり当期純利益金額	66.31円	36.95円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	791,491	441,068
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	791,491	441,068
普通株式の期中平均株式数(株)	11,936,044	11,935,869

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,888,936	10,865,165
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,888,936	10,865,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,935,948	11,935,704

(重要な後発事象)

該当事項はありません。